

## L'ORÉAL

### 仏・ロレアル エクイリープが選ぶ世界で最もジェンダー平等な企業にランクイン フランス国内においてはNO.1 企業に選定

世界最大の化粧品会社ロレアルグループ（本社：パリ）は、現地時間 2023年3月2日、蘭 NGO 法人「Equileap（エクイリープ）\*」による「2023 Global Gender Equality Ranking（2023年度世界ジェンダー平等ランキング）」において、フランス国内で1位に選定されました。また世界23カ国から3,500社が参加したグローバルランキングにおいては、11位にランクインしました。6年前に同ランキングが発表されて以来、当社はすべてのランキングで選定されています。

ロレアルグループの最高経営責任者（CDO）であるニコラ・イエロニムスは次の通りコメントしています。「エクイリープによるジェンダー平等ランキングに6年連続で選定、そしてフランス国内で1位となったことを光栄かつ誇りに思います。ロレアルにおいて、ジェンダー平等は、当社のグローバルミッションである“世界をつき動かすような美の創造”と密接に関係しています。これまで成し遂げてきたことを誇りに思う一方、当社は引き続き、当社のエコシステム全体において、DE&Iにおけるすべての側面での変化を推進していきます」

ロレアルグループのグローバル・チーフ・ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン・オフィサーであるマーガレット・ジョンソン-クラークは次の通り述べています。「行動は言葉よりも雄弁です。ロレアルでは、ジェンダーに関連する暴力、より正確にはドメスティックバイオレンスに対するグローバルポリシーを設けています。さらに、私たちは不平等や差別に対して声を上げ続け、社内でも社外のサプライヤーやパートナーに対してもジェンダー平等の提唱者となることで、あらゆる場面において女性をエンパワーしています」

エクイリープのCEOであるダイアナ・ヴァン・マースダイクは次の通り述べています。「当団体の第6回グローバルジェンダー平等レポートでは、朗報をお届けすることができました。2021年以降、平均スコアは7ポイント上昇し、世界中の1億200万人の従業員を対象としたデータにおいて、大きな動きとなりました。さらに、ジェンダー平等の推進は業績の向上につながるという認識が高まっています。計測できるものは改善できるのです」

ロレアルでは、ボードメンバー（取締役会）の50%、エグゼクティブ・コミッティメンバーの32%、すべての重要なポジションの57%、グローバルブランドのディレクターの61%が女性です（日本においては、オフィススタッフの約60%、管理職の54%が女性であり、職場でのジェンダーパリティを実現しています）。

ロレアルは、会社のすべての階層ならびに部門においてジェンダー平等を実現するために、長年にわたり取り組んできました。当社グループは、世界中のあらゆる場所で、LGBTQIA+ コミュニティを支持する、より包摂的な環境の構築を続けています。ロレアルは、あらゆる種類のハラスメントや暴力、特にセクシャルハラスメント、そしてジェンダーに基づく暴力に対して、断固として取り組みます。

ロレアルについて <https://www.loreal.com/en/>

世界有数のビューティーカンパニーであるロレアルは、110年以上にわたって世界中の消費者の美に対する熱望を満たすことだけに専念してきました。ロレアルのパーパス（存在意義）は、「世界をつき動かすような美の創造」であり、自らを包摂的、倫理的かつ思いやりをもって美にアプローチし、社会と地球環境の持続可能性（サステナビリティ）に取り組む企業であると定義づけています。35のグローバルブランドからなる多様なブランドポートフォリオを有し、サステナビリティプログラム「ロレアル・フォー・ザ・フューチャー」のもと壮大な目標を掲げ、世界中の一人ひとりに、品質・効能・安全性・誠実さ・責任の面で、最高峰のものを提供するとともに、美の無限な多様性を称えています。85,400人のグループ社員の貢献、バランスの取れた地理的ゾーン構成、そしてすべての流通網（Eコマース、量販店、デパート、薬局、ヘアサロン、ブランドショップ、トラベルリテール）における売上により、2021年のグループの売上高は322億8,000万ユーロとなりました。ロレアルは、世界11カ国に20のリサーチセンターを持ち、4,000人以上の科学者と3,000人以上の技術専門家からなるリサーチ&イノベーションチームを擁しており、未来の美を発明し、影響力をもつビューティテックカンパニーとなることに注力しています。

日本ロレアルについて <https://www.loreal.com/ja-jp/japan/>

ロレアルは1963年から日本で事業を開始し、1996年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2021年末時点での社員数は、2,270人、2021年12月現在の取り扱いブランドは18です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。日本はロレアルグループのなかで戦略的拠点のひとつであり、マーケティングならびに営業拠点のほか、研究開発所（日本ロレアルリサーチ&イノベーションセンター）と製造工場（株式会社コスメロール）とシュウウエムラとタカミの2つのブランドの本社組織（商品企画やグローバル展開施策を策定する組織）を有しています。社内のみならず、社外での女性エンパワメントにも取り組んでおり、2016年からはシングルマザーの就労・キャリアアップを支援するプログラム「未来への扉」を展開するほか、女性科学者支援として、若手研究者を対象にした奨学金プログラムや、次世代への啓発活動を推進しています。

**\*エクイリープについて <https://equileap.com/>**

エクイリープは、企業セクターにおけるジェンダー平等に関するデータと洞察を提供する主要な組織です。エクイリープのデータにより、投資家はジェンダーレンズを用いた責任ある投資を強化し、ESG方針と実践の社会的側面に焦点を当てることができます。労働力、上級管理職、取締役会の男女比、賃金格差、育児休暇やセクハラに関する方針など、19項目にわたる独自の包括的な Gender Equality Scorecard™を用いて、世界中の約4,000社の上場企業を調査・ランク付けしています。

---

† 2022年12月末現在